

令和6年度 日臨技近畿支部 微生物部門秋季研修会

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
実務担当技師会：公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会

【テーマ】 グラム陰性菌の耐性について学ぶ～感受性パターンから紐解く耐性菌検査～

【日時】 令和6年12月7日（土）、8日（日）

【開催場所】 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科
〒607-8175 京都府京都市山科区大宅山田3-4

【受講料】 12,000円（日臨技非会員 20,000円）

【定員】 56名（8名×7班）

【日程】

《1日目》 12月7日（土）

11:00～12:00 受付

12:00～12:10 開講式／オリエンテーション

12:10～12:40 講義1：耐性菌検査に役立つ抗菌薬の基礎知識

講師：兵庫県立がんセンター 寺前 正純

12:40～13:10 講義2：薬剤感受性検査判定方法について（MIC値・ディスク）

講師：滋賀医科大学医学部附属病院 木下 愛

13:10～13:40 講義3：耐性菌検査に役立つ耐性メカニズム

講師：市立奈良病院 山下 貴哉

14:00～17:30 実習1：耐性菌検査実習

感受性パターンから推定する耐性菌予測と表現型試験

《2日目》 12月8日（日）

9:00～9:20 講義4：耐性菌に役立つ表現型試験

講師：関西医療大学 大瀧 博文

9:30～11:30 実習2：結果判定とその解説

11:45～12:45 講義5：多剤耐性グラム陰性桿菌の治療戦略（ランチョンセミナー）

講師：兵庫県立播磨姫路総合医療センター 感染症内科 西村 翔先生

（昼食をとりながらの講義です。昼食は自費となります。）

13:00～14:00 講義6：耐性菌を見逃さないポイントとお悩み相談室

講師：京都橘大学 中村 竜也

14:00～ 閉会・修了証書授与

【ねらい】

グラム陰性桿菌の主な薬剤耐性機序として β -ラクタマーゼ産生があります。それらには様々なパターンが存在するため、非常に複雑になってきております。また、誘導型や変異型ではMICが低くても臨床的に効果がない場合があるため注意が必要です。微生物検査室ではこれらの耐性機序を正しく理解し、適切な検査を実施して正しい薬剤感受性検査結果を報告する必要があります。感受性パターンから想定される耐性機序の把握、必要な確認試験の実施、結果を踏まえての解釈、多剤耐性菌に関する新規抗菌薬検査などを通して、グラム陰性菌の耐性菌について総合的に検出法を学ぶ場としたいと考えます。たくさんの皆様のご参加をお待ちいたしております。

【申込み方法】

日臨技会員の方は、HPより申し込みしてください。(10月1日よりWEB申し込みの受付予定)
非会員の方は下記事務局宛にE.mail(携帯アドレスは不可)にて、件名に“令和6年度日臨技近畿支部微生物部門秋季研修会参加申し込み”と記載し、施設、氏名(ふりがな)、微生物検査経験年数、電話番号を送信してください。お申し込み後、4日以内に事務局からの返信がない場合には、電話にてお問い合わせください。

【申し込み期間】

受付開始は、令和6年10月1日(火)～11月22日(金)です。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【研修会事務局】

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町1379

近江八幡市立総合医療センター 臨床検査科

担当者:近澤秀己 TEL:0748-33-3151 E-mail:hidechica49@gmail.com